

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17106007	研究期間	平成17年度～平成21年度
研究課題名	都市内水資源の持続的活用のための次世代MBR開発	研究代表者 (所属・職)	山本 和夫（東京大学・環境安全 研究センター・教授）

【平成20年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

研究グループは、当初計画していたナノろ過嫌気MBRの開発を嫌気不燃布・好気NF-MBRの開発に変更したが、その理由と変更方針は妥当なものである。そのために研究組織を拡充して対応策も講じ、かえって当初想定した以上の成果が得られる可能性も見えてきている。同グループの研究推進能力の高さを実証した形となった。この計画変更と実験フィールド移転の遅れという当初想定していなかった事態に伴い、実証期間の短縮を余儀なくされたが、研究成果に著しい悪影響を及ぼすおそれは小さいと考えられる。研究成果は国際的学術誌に多数報告され、期待通りの成果が見込まれる。

可能であれば、本研究で開発されたシステムが、今後、具体的にどのように実用化されるのかを示し、その上で、実用化された場合のシステム全体の効率性、経済性についても評価していただきたい。

【平成22年度 検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。

嫌気不燃布・好気NF-MBRの開発と有効性の実証に関して十分な研究成果を挙げ、広く公表している。